

概

況

概 況

1 取扱高

(1) 年間取扱高

総取扱高

平成 13 年中 (1 月 5 日から 12 月 30 日、開市日数 273 日) の総取扱数量は、717,581 t で対前年比 99.3 % で僅かに前年を下回り、総取扱金額は、614,319 百万円で前年比 96.0 % と前年を下回った。総取扱数量が前年を下回るのは 4 年ぶり、総取扱金額が前年を下回るのは 5 年連続。

総平均価格は、前年に比べ 29 円安の 856 円となった。

取扱数量と平均価格を大分類別に比較すると、次のとおり。

鮮 魚

さんま、はまち (養殖)、かんぱちが増加し、まぐろの国内物、めじ、かつお、ぶりが減少した。取扱数量は 190,690 t で対前年比 96.4 %、平均価格は 9 円安の 903 円。

活 魚

かんぱち・ひらめが増加し、あなご・またいが減少した。取扱数量は 15,689 t で対前年比 100.0 %、平均価格は 2 円安の 1,477 円。

貝 類

生鮮・冷凍ともに前年を下回り、取扱数量は 51,044 t で前年比 97.4 %、平均価格は 7 円高の 902 円となった。

生鮮貝類では、かき、はたて貝、むきはたて貝が増加し、あおやぎ、あさり、あか貝が減少した。

冷凍魚

ほんまぐろ、するめいかの国内物、ぎんさけ、さばが増加し、印度まぐろ、ぎんたら、たこが減少した。取扱数量は 195,627 t で対前年比 104.7 %、平均価格は 99 円安の 938 円。

淡水魚

生鮮・冷凍ともに前年を下回り、取扱数量は 2,734 t で対前年比 86.7 %、平均価格は 87 円高の 1,130 円。

海藻類

取扱数量は 8,633 t で対前年比 113.9 %、平均価格は 22 円安の 415 円。

加工品

塩ぎんさけ、蒲焼うなぎ、つくだ煮が増加し、塩しろさけ、開干あじ、しらす干、かまぼこが減少した。取扱数量は 253,161 t で、対前年比 97.7 %、平均価格は 8 円安の 721 円。

(2) 月別取扱高

— 1 月 —

☆ 鮮 魚

取扱数量	12,901 t (対前年比 95.1 %)
平均価格	1,082 円 (" 1 円高)

取扱数量は、まぐろ類は、まぐろの国内物が対前年比 14 % 減、まぐろの輸入物が 5 % 増、めじが 29 %、めばちの国内物は 11 %、めばちの輸入物は 24 %、それぞれ減少し、類計では 15 % 減。まあじが千葉・鳥取物主体に 2 割減。するめいかは漁況が好調なため、福岡・長崎物主体に 84 % 増。はまちがほぼ前年並みの入荷。たら類は、4 % 増。

平均価格は、まぐろ類は、国内物が 18 % 高、輸入物が 1 % 安、めじが 12 % 安、めばちの国内物が 1 割高、めばちの輸入物が 4 % 安で、類計では 5 % 高。まあじが 25 % 高、するめいかは 37 % 安、はまちが 7 % 安、たら類が 4 % 高。

☆ 活 魚

取扱数量	1,185 t (対前年比 92.4 %)
平均価格	1,476 円 (" 84 円高)

取扱数量は、またいが 12 % 減、あなごが 16 % 減、かんぱちが 3 % 増。

平均価格は、またいが 41 % 高、あなごが 17 % 高、かんぱちが 19 % 安。

☆ 貝 類

取扱数量	4,361 t (対前年比 95.5 %)
平均価格	937 円 (" 38 円高)

＜生鮮貝類＞

取扱数量は、あさが 3 % 増、かきが 5 % 減、しじみが 1 割減、はまぐりが 16 % 減、あか貝が 17 % 減、はたて貝が 8 % 減、むきかきが 1 割増で、類計では 5 % 減。

平均価格は、あさが前年並み、かきが 5 % 安、しじみが 5 % 高、はまぐりが 1 割高、あか貝が 29 % 高、はたて貝が 6 % 高、むきかきが 9 % 安で、類計では 3 % 高。

＜冷凍貝類＞

取扱数量は、類計で前年並み。平均価格は、類計で 12 % 高。

☆ 冷凍魚

取扱数量	14,426 t (対前年比 128.5 %)
平均価格	930 円 (" 190 円安)

取扱数量は、まぐろ類は、ほんまぐろが 39 % 増、きわだが 53 % 増、主力のめばちが前年並み、印度まぐろが 1 割増で、類計では 8 % 増。いか類は、するめいかの国内物が 15 % 増、もんこういが 4 % 増、類計では 4 % 増。さけ・ます類は、主力のぎんさけが急増して 2.3 倍増、べにさけが前年並みで、類計では 119 % 増。えび類は、あかえびが前年並み、インドネシアが 13 % 増、インドが 2.2 倍増で、類計では 9 % 増。かれい類は、あさばかれいが 13 % 増、からすかれいが 19 % 増、類計では 2 割増。さばが 3 倍増、たこが 64 % 増。

平均価格は、まぐろ類は、ほんまぐろが 13 % 安、きわだが 28 % 安、めばちが 13 % 安、印度まぐろが前年並みで、類計では 7 % 安。いか類は、するめいかの国内物が 9 % 安、もんこういが 8 % 安、類計では 14 % 安。えび類は、あかえびが前年並み、インドネシアが 15 % 高、インドが 12 % 高で、類計では 1 割高。かれい類は、あさばかれいが 1 割高、からすかれいが 21 % 安で、類計では 4 % 安。さばが 34 % 安、たこが 12 % 高。

☆ 加工品

取扱数量	18,873 t (対前年比 100.4 %)
平均価格	662 円 (" 14 円安)

取扱数量は、塩蔵品類は、塩あきさけが 39 % 減、塩しろさけが 23 % 増、塩べにさけが 12 % 減、塩ぎんさけが 59 % 増、いくらが 38 % 減、すけこが 24 % 減で、類計では前年並み。塩干品類は、丸干いわしが 18 % 減、開干あじが 6 % 減で、類計では 7 % 減。煮干製品類は、煮干いわしが 17 % 増、しらす干が 12 % 増で、類計では 11 % 増。練製品類は、かまぼこが 4 % 減、揚物が前年並みで、類計では前年並み。湯煮品類は、煮たこが 1 割減で、類計では 7 % 減。

平均価格は、塩蔵品類は、塩あきさけが 13 % 安、塩しろさけが 5 % 安、塩べにさけが 13 % 高、塩ぎんさけが 25 % 安、いくら 1 割高、すけこは 26 % 高で、類計では 7 % 安。塩干品類は、丸干いわしが 22 % 高、開干あじが 4 % 安で、類計では 4 % 高。煮干製品類は、煮干いわしが 19 % 高、しらす干が 8 % 高、類計では 9 % 増。練製品類は、かまぼこが 1 割高、揚物が前年並みで、類計でも前年並み。湯煮品類は、煮たこが 3 % 高、類計でも 3 % 高。

- 2 月 -

☆ 鮮 魚

取扱数量	13,862 t (対前年比 95.4 %)
平均価格	992 円 (" 47 円安)

取扱数量は、まぐろ類は、まぐろの輸入物が 29 %増加した。他はまぐろの国内物が 41 %、めじが 36 %、きわだの国内物が 38 %、めばちの輸入物が 11 %とほとんどの品目で前年実績を下回り、類計では 10 %減。まあじは、千葉・長崎・三重もの主体に 13 %減。するめいかは、福岡・長崎もの主体に 28 %増。さばは、長崎もの主体に 9 %増。まいわしは、静岡・三重・愛媛もの中心に 9 %減。

平均価格は、まぐろ類は国内物が 27 %高、輸入物が 7 %安、めじが 5 %安、きわだの国内物が 7 %安、めばちの輸入物が 10 %安で、類計では 3 %高。まあじは前年並み。するめいかは 3 割安。さばは 19 %安。まいわしは 1 割高。

☆ 活 魚

取扱数量	1,115 t (対前年比 92.4 %)
平均価格	1,471 円 (" 25 円高)

取扱数量は、あなごが 6 %減、かんぱちが 10 %減、またいが 16 %減。

平均価格は、あなごが 8 %高、かんぱちが 3 割高、またいが 38 %高。

☆ 貝 類

取扱数量	4,257 t (対前年比 90.3 %)
平均価格	872 円 (" 11 円高)

<生鮮貝類>

取扱数量は、あさが 8 %減、かきが 9 %減、しじみが 15 %減、はまぐりが 19 %減、はたて貝が 9 %減、むきかきが 3 %減、むきはたて貝が 13 %減で、類計では 10 %減。

平均価格は、あさが前年並み、かきが 7 %安、しじみが 15 %安、はまぐりが 19 %安、はたて貝が 3 %高、むきかきが 11 %安、むきはたて貝が前年並みで、類計では前年並み。

<冷凍貝類>

取扱数量は類計で 21 %減、平均価格は類計で 18 %高。

☆ 冷凍魚

取扱数量	15,562 t (対前年比 106.3 %)
平均価格	864 円 (" 154 円安)

取扱数量は、まぐろ類は、ほんまぐろが 18 %増、きわだが 38 %増加したが、主力のめばちが 21 %減、印度まぐろが 11 %減少したため、類計では 14 %減少した。いか類は、するめいかの国内物が 80 %と大幅増、もんこういかは 32 %減、むきいかは 17 %減で、類計では 26 %増。さけ・ます類は、主力のぎんさけが 55 %増、しろさけが 7 %増、べにさけが 26 %減で、類計では 49 %増。えび類は、あかえびが 6 %減、インドネシアが 34 %減、インドが 45 %減とそれぞれ大きく減少し、23 %減。かれい類は、あさばかれいが 13 %減、からすかれいは 49 %増、類計では 8 %増。かに類は 8 %減、たこは前年並み、ぎんたらは 31 %減、さばは倍増。

平均価格は、まぐろ類はほんまぐろが 14 %安、きわだが 24 %安、めばちが 5 %安、印度まぐろが 7 %高で、類計は前年並み。いか類は、するめいかの国内物は 7 %高、もんこういかは 5 %安、むきいかは 4 %安で、類計では 16 %安。さけ・ます類は、ぎんさけが 23 %安、しろさけが 10 %安、べにさけが 9 %安で、類計では 22 %安。えび類は、あかえびが 10 %安、インドネシアが 6 %高、インドが前年並み、類計では 4 %高。かれい類は、あさばかれいが 8 %高、からすかれいが 41 %安、類計では 14 %安。かに類は 6 %安、たこは 26 %高、ぎんたらは 5 %高、さばは 24 %安。

☆ 加工品

取扱数量	19,945 t (対前年比 95.4 %)
平均価格	645 円 (" 15 円安)

取扱数量は、塩蔵品類は、塩しろさけが 19 %増、塩べにさけが 13 %減、塩ぎんさけが 66 %増、いくらが 34 %減、すけこが 29 %減で、類計ではほぼ前年並み。塩干品類は、丸干いわしが 28 %減、開干あじが 15 %減で、類計では 12 %減。煮干製品類は、煮干いわしが 30 %増、しらす干が 4 %増で、類計では 10 %増。練製品類は、揚物が 8 %減で、類計では 7 %減。湯煮品類は、煮たこが 25 %減、類計では 19 %減。

平均価格は、塩蔵品類は、塩しろさけが 8 %高、塩べにさけが 22 %高、塩ぎんさけが 24 %安、いくらが 7 %高、すけこが 29 %高で、類計では 8 %安。塩干品類は、丸干いわしが 14 %高、開干あじが前年並みで、類計では 3 %高。煮干製品類は、煮干いわしが 21 %高、しらす干が 12 %高で、類計では 4 %高。練製品類は前年並み。湯煮製品類は、煮たこが 14 %高、類計では 6 %高。

- 3 月 -

☆ 鮮 魚

取扱数量	14,831 t (対前年比 98.2 %)
平均価格	1,060 円 (" 20 円安)

取扱数量は、まぐろ類は、まぐろの国内物が 9 %増、まぐろの輸入物が 21 %増、めじが入荷順調で倍増、きわだの国内物が 28 %増、めばちの輸入物が 3 %増で、類計では 15 %増。するめいかは、福岡・長崎もの主体に 16 %減。まあじは、長崎・島根もの主体に 2 %増。さばは、長崎もの主体に 44 %増。まいわしは、三重・高知ものが主力で、41 %減。

平均価格は、まぐろ類は、国内物が 15 %高、輸入物が前年並み、めじが前年並み、きわだの国内物が 33 %安、めばちの輸入物が 5 %安で、類計では 8 %安。するめいかは 6 %高、まあじは 3 %高、さばは 24 %安、まいわしは 55 %高。

☆ 活 魚

取扱数量	1,365 t (対前年比 101.7 %)
平均価格	1,534 円 (" 30 円高)

取扱数量は、あなごが 7 %減、かんぱちが 32 %増、またいが 4 %減、ひらめが 3 %減。

平均価格は、あなごが 11 %高、かんぱちが 32 %安、またいが 29 %高、ひらめが前年並み。

☆ 貝 類

取扱数量	4,782 t (対前年比 99.7 %)
平均価格	872 円 (" 15 円高)

<生鮮貝類>

取扱数量は、あさが 6 %減、しじみが 4 %減、はまぐりが前年並み、あか貝が前年並み、はたて貝が 13 %増、さざえが 5 %増、むきかきは 14 %増、むきはたて貝は前年並みで、類計では前年並み。

平均価格は、あさが前年並み、しじみが 5 %高、はまぐりが前年並み、あか貝が 26 %高、はたて貝が前年並み、さざえが 4 %安、むきかきが 15 %安、むきはたて貝は前年並みで、類計では前年並み。

<冷凍貝類>

取扱数量は類計で前年並み、平均価格は類計で 3 %高。

☆ 冷凍魚

取扱数量	17,693 t (対前年比 96.4 %)
平均価格	930 円 (" 31 円安)

取扱数量は、まぐろ類は、ほんまぐろが 26 %増、きわだが倍増、めばちが 5 %減、印度まぐろが前年並み、類計も前年並み。いか類は、するめいかの国内物が 32 %増、類計では 3 %増。さけ・ます類は、しろさけが 38 %減、べにさけが 43 %減、

ぎんさけが 13 % 増、ますのすけが 27 % 増で、類計では 30 % 増。えび類は、あかえびが 19 % 減、インドネシアが 25 % 減、インドが 54 % 減で、類計では 24 % 減。かに類は 13 % 減、ぎんたらが 41 % 減、さばが 60 % 増、たこが 29 % 減。

平均価格は、まぐろ類は、ほんまぐろが 11 % 安、きわだが 15 % 安、めばちが 3 % 安、印度まぐろが 3 % 高、類計ではほぼ前年並み。いか類は、するめいかの国内物では 13 % 高で、類計では 7 % 安。さけ・ます類は、しろさけ・べにさけが前年並み、ぎんさけが 18 % 安、ますのすけが 23 % 安、類計で 19 % 安。えび類は、あかえびが 5 % 安、インドネシアが 4 % 高、インドが 3 % 高、類計で 7 % 高。かに類は 5 % 高、ぎんたらが 6 % 高、さばが 12 % 安、たこが 37 % 高。

☆ 加工品	取扱数量	22,965 t (対前年比 101.9 %)
	平均価格	690 円 (" 21 円安)

取扱数量は、塩蔵品類は、塩しろさけが 7 % 増、塩べにさけは 13 % 減、塩ぎんさけは 37 % 増、いくらが 15 % 減、すけこが 34 % 減で、類計では 5 % 減。塩干品類は、開干あじが 8 % 減、類計では 3 % 減。煮干製品類は、こうなごが倍増以上、しらす干が 15 % 増、類計で 57 % 増。練製品類は前年並み。湯煮品類は煮たこが 19 % 減で、類計では 11 % 減。

平均価格は、塩蔵品類は、塩しろさけが 22 % 安、塩べにさけが 24 % 高、塩ぎんさけが 21 % 安、いくらが 12 % 高、すけこが 19 % 高、類計では 3 % 安。塩干品類は、開干あじが前年並み、類計で前年並み。煮干製品類は、こうなごが 39 % 安、しらす干が 7 % 高、類計では 16 % 安。練製品類は前年並み、湯煮品類は、煮たこが 15 % 高、類計では 7 % 高。

— 4 月 —

☆ 鮮 魚	取扱数量	13,768 t (対前年比 93.1 %)
	平均価格	1,004 円 (" 25 円高)

取扱数量は、まぐろ類は、まぐろの国内物が 14 % 減、まぐろの輸入物が前年並み、きわだの国内物が 23 % 減、めばちの輸入物が 22 % 減、めじが 4 倍増で類計では 5 % 減。まあじは長崎・千葉もの主体で前年並み、さばは漁況が不振で愛媛もの主体に 13 % 減、まいわしは高知・三重もの主体に 41 % 減、かつおは、宮崎もの主体に 38 % 減。

平均価格は、まぐろ類は、国内物が 17 % 高、輸入物が 33 % 高、きわだの国内物が 4 % 安、めばちの輸入物が 6 % 高、めじが 14 % 安で、類計では 8 % 高。まあじは前年並み、まいわし

は 39 % 高、かつおは 52 % 高。

☆ 活 魚	取扱数量	1,284 t (対前年比 98.8 %)
	平均価格	1,550 円 (" 20 円高)

取扱数量は、あなごが前年並み、かんぱちがほぼ倍増、またいが 19 % 減。

平均価格は、あなごが 6 % 高、かんぱちが 36 % 安、またいが 27 % 高。

☆ 貝 類	取扱数量	4,078 t (対前年比 91.0 %)
	平均価格	869 円 (" 43 円高)

<生鮮貝類>

取扱数量は、あさりが 7 % 減、しじみが 9 % 減、あか貝が 11 % 減、はたて貝が 4 % 減、むきはたて貝が前年並みで、類計では 9 % 減。

平均価格は、あさりが 3 % 安、しじみが 5 % 高、あか貝が 13 % 高、はたて貝・むきはたて貝が前年並みで、類計では 7 % 高。

<冷凍貝類>

取扱数量は、類計で 10 % 減、平均価格は、類計で 5 % 安。

☆ 冷凍魚	取扱数量	17,764 t (対前年比 103.8 %)
	平均価格	910 円 (" 73 円安)

取扱数量は、まぐろ類は、ほんまぐろが 19 % 増、きわだがほぼ 3 倍増、主力のめばちが 4 % 増、印度まぐろが前年並みで、類計では 10 % 増。いか類は、するめいかの国内物が 56 % 増、類計では 10 % 増。さけ・ます類は、主力のぎんさけがほぼ倍増、ますのすけが 77 % 増と大きく伸びた。しろさけが 27 % 減、べにさけが 54 % 減で、類計では 83 % 増。えび類は、あかえびが 15 % 減、インドネシアが 2 % 増、インドは 65 % 減と大きく落ち込み、類計でも 7 % 減。かに類は 31 % 減、さばは 74 % 増、たこは 25 % 減、ぎんたらは 23 % 減。

平均価格は、まぐろ類は、ほんまぐろが 5 % 安、きわだが 22 % 安、めばちが 8 % 安、印度まぐろが前年並み、類計で 6 % 安。いか類は、するめいかの国内物が 20 % 高、類計で 16 % 安。さけ・ます類は、ぎんさけが 22 % 安、ますのすけが 23 % 安、しろさけが 28 % 高、べにさけが 26 % 高で、類計では 15 % 安。えび類は、あかえびが 6 % 安、インドネシアが 6 % 高、インドが 7 % 高で、類計では 4 % 高。かに類は 6 % 安、さばは 4 % 安、たこは 31 % 高、ぎんたらは前年並み。

図 1-1 総取扱数量の動き

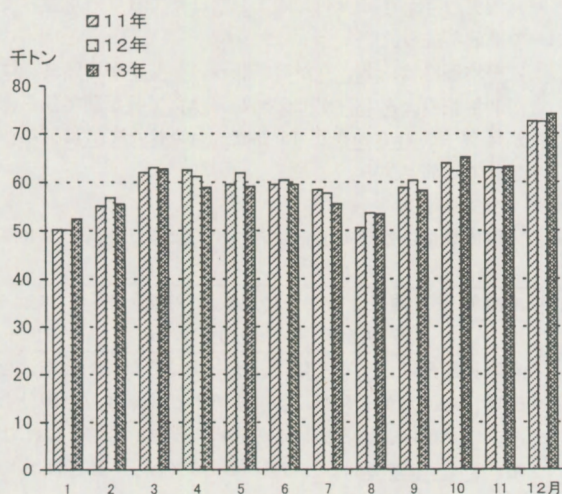


図 1-2 総平均価格の動き

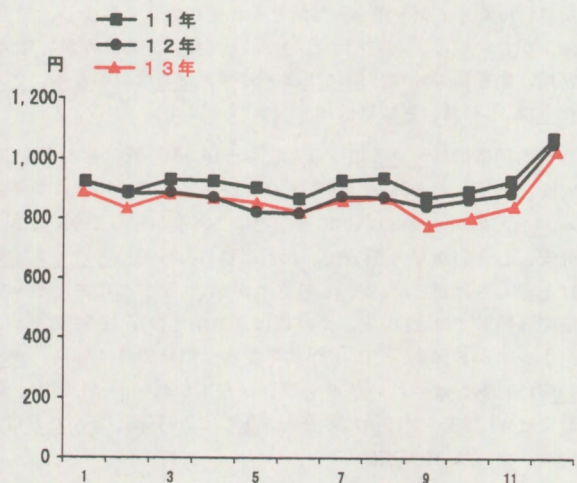
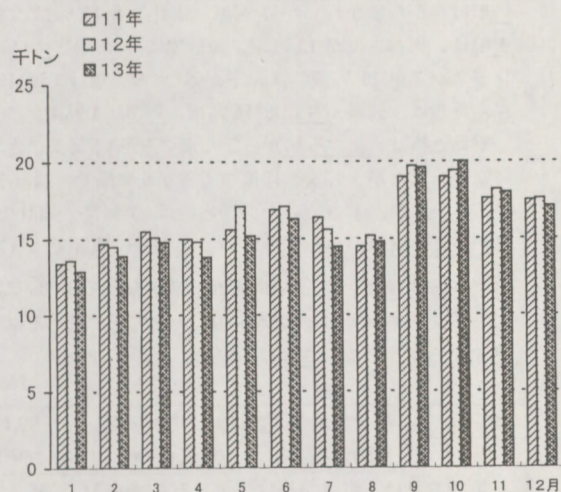


図 2-1 鮮魚取扱数量の動き



☆ 加工品	取扱数量	20,907 t (対前年比 99.1 %)
	平均価格	693 円 (" 6 円安)

取扱数量は、塩蔵品類は、塩あきさけが 61 %減、塩しろさけが 14 %減、塩べにさけが 34 %減、塩ぎんさけが 8 %増、いくらが 14 %減、すけこが 15 %減で、類計では 18 %減。塩干品類は、開干あじは 17 %減、類計では 10 %減。煮干製品類は、こうなごが 34 %増、しらす干が 26 %減、類計では 4 %減。焼物製品類は、蒲焼うなぎが 3 %増、類計が前年並み。練製品類は、類計で 5 %減。湯煮品類は、煮たこが 24 %減、類計では 17 %減。

平均価格は、塩蔵品類は、塩しろさけが 10 %安、塩べにさけが 34 %高、塩ぎんさけが 13 %安、いくらが前年並み、すけこが 8 %高、類計で 10 %高。塩干品類は、開干あじが 8 %高、類計では 4 %高。煮干製品類は、こうなごが 54 %安、しらす干が 25 %高、類計では 13 %安。焼物製品類は、蒲焼うなぎが 11 %安、類計で 10 %安。練製品類は類計で 3 %安。湯煮品類は煮たこが 19 %高、類計では 8 %高。

— 5 月 —

☆ 鮮 魚	取扱数量	15,195 t (対前年比 88.7 %)
	平均価格	904 円 (" 80 円高)

取扱数量は、まぐろ類は、まぐろの国内物が 54 %減、まぐろの輸入物が 34 %減、きわだの国内物が 36 %減、きわだの輸入物が 48 %増、めばちの輸入物は 11 %減で、類計では 27 %減。まあじは漁況悪く、千葉ものの主体で 12 %減、さばは愛媛・和歌山・静岡もの主体に 7 %増、まいわしは静岡・千葉もの主体で 55 %減、するめいかは石川・鳥取もの主体で 29 %増、かつおは千葉・宮崎もの主体に 27 %減。

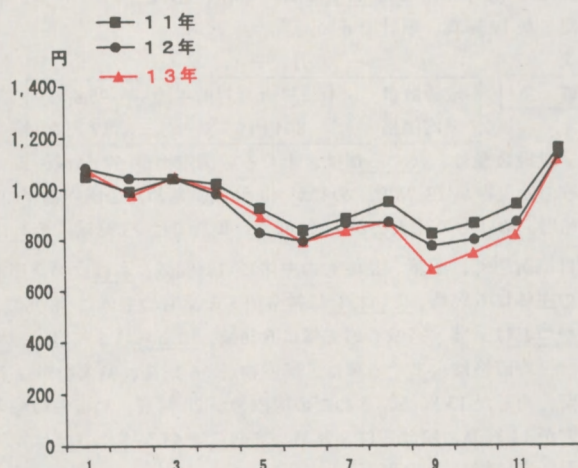
平均価格は、まぐろ類は、国内物が 56 %高、輸入物が 44 %高、きわだの国内物が 23 %高、きわだの輸入物が 13 %安、めばちの輸入物が 12 %高で、類計では 26 %高。まあじは 29 %高、さばは前年並み、まいわしは 66 %高、するめいかは 30 %安、かつおは 53 %高。

☆ 活 魚	取扱数量	1,327 t (対前年比 94.0 %)
	平均価格	1,552 円 (" 190 円高)

取扱数量は、あなごが 16 %減、かんぱちが倍増、またいが 26 %減。

平均価格は、あなごが 30 %高、かんぱちが 32 %安、またいが 48 %高。

図 2-2 鮮魚平均価格の動き



☆ 貝 類	取扱数量	4,008 t (対前年比 91.1 %)
	平均価格	903 円 (" 70 円高)

<生鮮貝類>

取扱数量は、あさりが 12 %減、しじみが 9 %減、あか貝が 15 %減、はたて貝が 3 %減、むきはたて貝が前年並みで、類計では 10 %減。

平均価格は、あさりが前年並み、しじみが 5 %高、あか貝が 32 %高、はたて貝・むきはたて貝が前年並みで、類計では 9 %高。

<冷凍貝類>

取扱数量は類計で 6 %増、平均価格は類計で 4 %安。

☆ 冷凍魚	取扱数量	16,106 t (対前年比 102.6 %)
	平均価格	929 円 (" 46 円安)

取扱数量は、まぐろ類は、ほんまぐろが 7 %増、きわだが倍増、めばちが 6 %増、印度まぐろが 5 %増、類計で 10 %増。いか類は、するめいかの国内物が 18 %増、もんこういかが 67 %増、類計で 15 %増。かれい類は、あさばかれいが 26 %減、からすかれいが 65 %増、さけ・ます類は、ぎんさけが 35 %増、類計では 47 %増。えび類は、あかえびが 16 %増、インドネシアが 9 %減、インドが 43 %減、類計では 2 %減。ぎんたらが 23 %増、たこが 21 %減、さばが 33 %減。

平均価格は、まぐろ類は、ほんまぐろは前年並み、きわだは 11 %安、めばちは 12 %安、印度まぐろは前年並み、類計で 8 %安。いか類は、するめいかの国内物は 31 %高、もんこういかは前年並み、類計で 6 %安。かれい類は、あさばかれいが 24 %高、からすかれいが 21 %安、類計は前年並み。さけ・ます類は、ぎんさけが 22 %安、類計で 18 %安。えび類は、あかえびが 11 %安、インドネシア・インドが前年並み、類計では前年並み。ぎんたらが 2 %安、たこが 25 %高、さばが 20 %高。

☆ 加工品	取扱数量	21,218 t (対前年比 96.1 %)
	平均価格	696 円 (" 14 円高)

取扱数量は、塩蔵品類は、塩しろさけが 4 %増、塩べにさけが 40 %減、塩ぎんさけが 47 %増、いくらが 8 %減、すけこが前年並みで、類計は 3 %減。塩干品類は、開干あじが 11 %減、類計では 5 %減。煮干製品類は、しらす干は 2 %増、こうなごが 69 %減、類計では 13 %減。練製品類は類計で 9 %減、湯煮品類は、煮たこが 25 %減、類計では 14 %減。

平均価格は、塩蔵品類は、塩しろさけが 6 %安、塩べにさけが、31 %高、塩ぎんさけが 17 %安、いくらが 4 %安、すけこ

が前年並み、類計では前年並み。塩干品類は、開干あじは4%高、類計では2%高。煮干製品類は、しらす干が48%高、類計では31%高。練製品類は類計で前年並み。湯煮品類は、煮たこが19%高、類計で6%高。

— 6月 —

☆ 鮮 魚	取扱数量	16,337 t (対前年比 95.8%)
	平均価格	804 円(" 12 円高)

取扱数量は、まぐろ類は、まぐろの国内物が67%減、まぐろの輸入物が13%増、めじが40%減、きわだの国内物が27%増、めばちの輸入物が11%減で、類計では23%減。まあじは漁況悪く、千葉・長崎もの主体に19%減、さばは神奈川もの主体に6%増、まいわしは神奈川・千葉もの主体に18%減、かつおは千葉・宮城もの主体に6%減、はまちは5%増。

平均価格は、まぐろ類は、国内物が56%高、輸入物が3%安、めじが13%高、きわだの国内物が20%高、めばちの輸入物が11%高、類計では9%高。まあじは43%高、さばは4%安、まいわしは30%高。

☆ 活 魚	取扱数量	1,355 t (対前年比 99.8%)
	平均価格	1,493 円(" 130 円高)

取扱数量は、あなごが12%減、かんぱちが前月に続き倍増、またいが24%減。

平均価格は、あなごが24%高、かんぱちが34%安、またいが43%高。

☆ 貝 類	取扱数量	3,869 t (対前年比 96.7%)
	平均価格	864 円(" 51 円高)

<生鮮貝類>

取扱数量は、あさりが前年並み、しじみが4%減、あか貝が15%減、ほたて貝が28%増、むきほたて貝が5%増、類計では4%減。

平均価格は、あさが2%安、しじみが6%高、あか貝が19%高、ほたて貝が3%安、むきほたて貝が3%安、類計では7%高。

<冷凍貝類>

取扱数量は類計で7%増、平均価格は類計で2%安。

☆ 冷凍魚	取扱数量	15,445 t (対前年比 100.7%)
	平均価格	915 円(" 83 円安)

取扱数量は、まぐろ類が、ほんまぐろが11%増、きわだが79

%増、主力のめばちが前年並み、印度まぐろが10%減。いか類は、するめいかの国内物が15%減、類計では6%増。かれい類は、からすかれいが7%減、類計では17%減。さけ・ます類は、ぎんさけが12%増、類計では13%増。えび類は、インドネシアが11%減、インドが55%減、類計では19%減。ぎんたらは3%減、さばは16%増、たこは3%増。

平均価格は、まぐろ類が、ほんまぐろが12%安、きわだが3%安、めばちが5%安、印度まぐろが6%高で、類計では5%安。いか類が、するめいかの国内物が17%高、類計では9%安。かれい類は、からすかれいは7%安、類計では17%安。

さけ・ます類は、ぎんさけが20%安、類計で14%安。えび類は、インドネシアが3%安、印度が12%安、類計では2%安。ぎんたらは5%高、さばは6%高、たこが28%高。

☆ 加工品	取扱数量	21,269 t (対前年比 99.1%)
	平均価格	705 円(" 26 円高)

取扱数量は、塩蔵品類は、塩しろさけが11%減、塩べにさが35%減、塩ぎんさけが21%増、いくらが15%増、すけこが前年並み、類計では3%減。塩干品類は、開干あじが14%減、類計では前年並み。煮干製品類は、しらす干が10%減、類計では8%減。焼物製品類は、蒲焼うなぎが16%増、類計では9%増。練製品類は類計で9%減。湯煮品類は、煮たこが12%減、類計では3%減。

平均価格は、塩蔵品類は、塩しろさけが10%高、塩べにさが24%高、塩ぎんさけが14%安、いくらが5%安、すけこが6%安で、類計では10%高。塩干品類は、開干あじが7%高、類計では前年並み。煮干製品類は、しらす干が56%高、類計では42%高。焼物製品類は、蒲焼うなぎが19%安、類計では15%安。練製品類は類計で前年並み。湯煮品類は、煮たこが14%高、類計では7%高。

— 7月 —

☆ 鮮 魚	取扱数量	14,478 t (対前年比 93.0%)
	平均価格	848 円(" 14 円安)

取扱数量は、まぐろ類は、まぐろの国内物の漁況がきわめて悪かったため76%減、まぐろの輸入物が倍増、きわだの国内物が31%増、めばちの輸入物が9%安、類計では37%減。するめいかは北海道・青森物主体に15%増、まあじは千葉・長崎物を主体として8%減、まいわしは千葉・長崎物主体に33%減、かつおは宮城・福島物が主体で3%減、さばは12%減。

平均価格は、まぐろ類は、国内物が35%高、輸入物が24%

図3-1 貝類取扱数量の動き

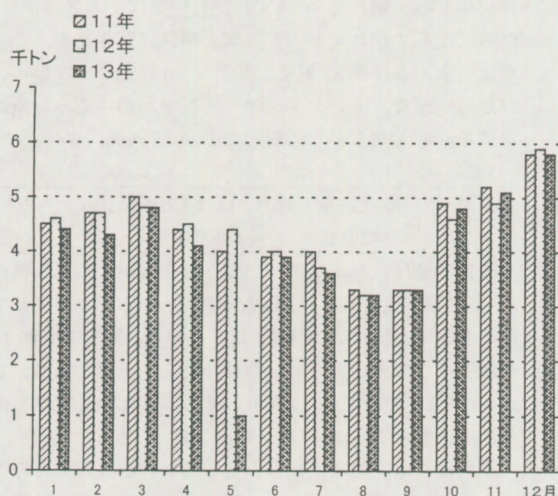


図3-2 貝類平均価格の動き

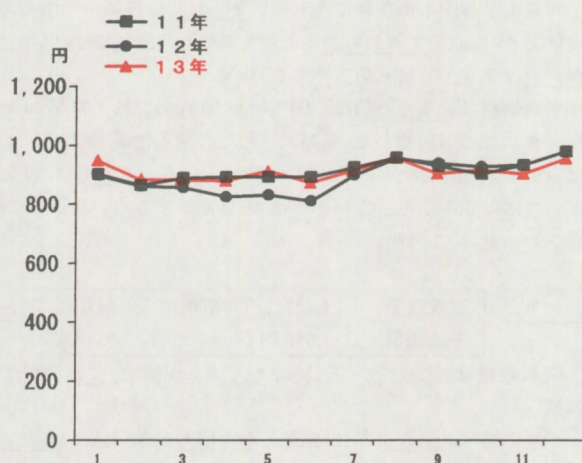
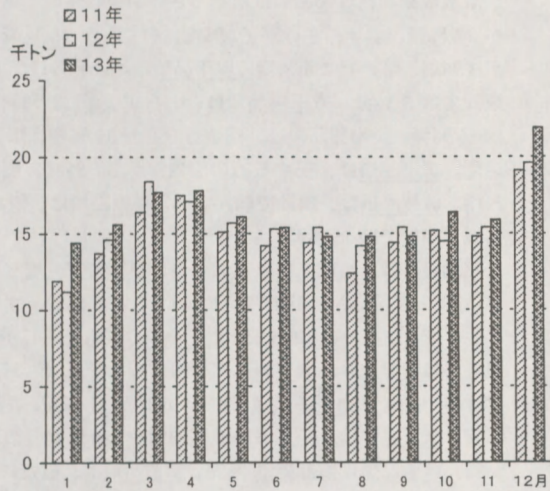


図4-1 冷凍魚取扱数量の動き



安、きわだの国内物が18%高、めばちの輸入物が17%高、類計では22%高。するめいかは22%安、まあじは3%高、まいわしは20%高、かつおは21%高、さばは2%高。

☆ 活魚

取扱数量	1,336 t (対前年比 102.3%)
平均価格	1,506 円 (" 12 円安)

取扱数量は、あなごが3%減、かんぱちが86%減、またいが24%減。

平均価格は、あなごが9%高、かんぱちが35%安、またいが33%高。

☆ 貝類

取扱数量	3,618 t (対前年比 98.1%)
平均価格	904 円 (" 4 円高)

<生鮮貝類>

取扱数量は、あさが8%減、しじみが前年並み、あか貝が4%減、ほたて貝が44%増、むきほたて貝が前年並み、類計では前年並み。

平均価格は、あさが前年並み、しじみが5%高、あか貝が4%高、ほたて貝が13%安、むきほたて貝が3%安、類計では前年並み。

<冷凍貝類>

取扱数量は類計で2%減、平均価格は類計で3%高。

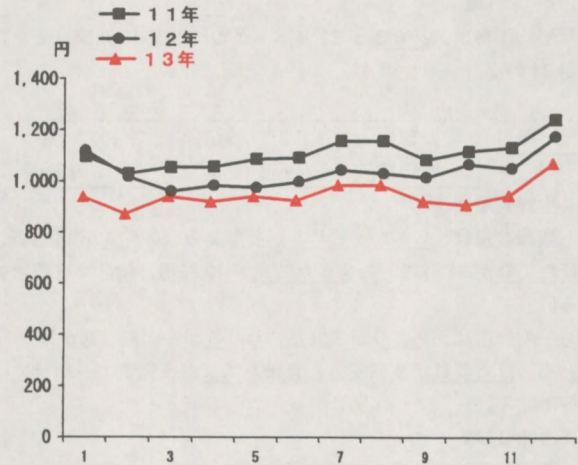
☆ 冷凍魚

取扱数量	14,768 t (対前年比 96.0%)
平均価格	973 円 (" 71 円安)

取扱数量は、まぐろ類は、ほんまぐろが27%増、きわだが87%増、主力のめばちが12%増、印度まぐろが10%減、類計では12%増。いか類は、するめいかの国内物が59%減、類計では40%減。さけ・ます類は、しろさけが30%減、べにさけが前年並み、ぎんさけが14%増、類計では18%増。えび類は、あかえびが26%増、インドネシアが18%減、インドが72%減と大きく減らし、類計では17%減。ぎんたらが54%減、さばが30%増。

平均価格は、まぐろ類は、ほんまぐろが14%安、きわだが9%安、めばちが11%安、印度まぐろが11%高、類計では8%安。いか類は、するめいかの国内物が27%高、類計では29%高。さけ・ます類は、しろさけが8%高、べにさけが15%高、

図4-2 冷凍魚平均価格の動き



ぎんさけが27%安、類計では13%安。えび類は、あかえびが19%安、インドネシアが5%安、インドが11%安、類計では7%安。ぎんたらが4%高、さばが前年並み。

☆ 加工品

取扱数量	20,077 t (対前年比 97.4%)
平均価格	726 円 (" 4 円高)

取扱数量は、塩蔵品類は塩しろさけが24%減、塩べにさけが25%減、塩ぎんさけが42%増、いくらが3%減、すけこが19%減、類計で6%減。塩干品類は、開干あじが18%減、類計で15%減。煮干製品類は、しらす干が22%増、類計で16%増。焼物製品類は、蒲焼うなぎが31%増、類計で26%増。練製品類は類計で8%減、湯煮品類は煮たこが22%減、類計で15%減。

平均価格は、塩蔵品類は塩しろさけが11%高、塩べにさけが前年並み、塩ぎんさけが15%高、いくらが8%安、すけこが5%高で、類計では前年並み。塩干品類は、開干あじが4%高、類計では2%高。煮干製品類は、しらす干が19%高、類計では16%高。焼物製品類は、蒲焼うなぎが19%安、類計で16%安。練製品類は類計で前年並み、湯煮品類は煮たこが15%高、類計では9%高。

— 8 月 —

☆ 鮮魚

取扱数量	14,760 t (対前年比 96.9%)
平均価格	882 円 (" 17 円高)

取扱数量は、まぐろ類は、まぐろの国内物が29%減、まぐろの輸入物が9%減、めじが46%減、きわだの国内物が60%減、めばちの輸入物が18%減、類計では28%減。まあじは長崎・石川もの主体に16%減、さばは神奈川・千葉もの主体に前年並み、まいわしは千葉・宮城もの主体に10%減、するめいかは北海道・青森ものが主体で17%減、かつおは宮城・福島もの主体に9%減、さんまは北海道もの主体に水揚げが順調で69%増。

平均価格は、まぐろ類は国内物が43%高、輸入物が3%安、めじが7%高、きわだの国内物が23%高、めばちの輸入物が3%高、類計では19%高。まあじは16%高、まいわしは15%安、するめいかは9%高、かつおは21%高、さんまは15%安。

平均価格は、あなごが3%安、かんぱちが33%安、またいが12%高。

☆ 貝 類	取扱数量	3,268 t (対前年比 99.1%)
	平均価格	896 円 (" 44 円安)

<生鮮貝類>

取扱数量は、あさりが3%減、しじみが4%減、はまぐりが15%減、あか貝が3%減、ほたて貝が30%増、むきほたて貝が8%増、類計では前年並み。

平均価格は、あさりが3%高、しじみが前年並み、はまぐりが4%高、あか貝が15%安、ほたて貝が12%安、むきほたて貝が8%安。

<冷凍貝類>

取扱数量は類計で9%安、平均価格は類計で2%安。

☆ 冷凍魚	取扱数量	14,787 t (対前年比 96.3%)
	平均価格	909 円 (" 107 円安)

取扱数量は、まぐろ類は、ほんまぐろが5%増、きわだが46%増、めばちが8%増、印度まぐろが16%減、類計では4%増。いか類は、するめいかの国内物が6%増、もんこういかが39%減、類計では10%減。さけ・ます類は、べにさけが27%減、ぎんさけが22%増、類計では17%増。えび類は、あかえびが12%減、インドネシアが5%減、インドが10%減、類計では8%減。ぎんたらが19%減、さばが19%減、たこが39%減。

平均価格は、まぐろ類は、ほんまぐろが20%安、きわだが9%安、めばちが15%安、印度まぐろが4%安、類計で16%安。いか類は、するめいかの国内物が21%高、もんこういかが30%高、類計が5%安。さけ・ます類は、べにさけが7%高、ぎんさけが35%安、類計では27%安。えび類は、あかえびが9%安、インドネシアが10%安、インドが21%安、類計で9%安。ぎんたらが3%高、さばが23%高、たこが8%高。

☆ 加工品	取扱数量	18,568 t (対前年比 93.3%)
	平均価格	688 円 (" 38 円安)

取扱数量は、塩蔵品類は塩あきさけが10%減、塩しろさけが7%増、塩べにさけが41%減、塩ぎんさけが29%減、いくらが47%減、すけこが4%減、類計では21%減。塩干品類は、開干あじが19%減、類計では6%減。煮干製品類は、しらす干が12%減、煮干いわしが35%増、類計では3%増。練製品類は前年並み。湯煮品類は煮たこが17%減、類計で21%減。

平均価格は、塩蔵品類は塩あきさけが3%安、塩しろさけが10%高、塩べにさけが6%安、塩ぎんさけが2%高、いくらが12%安、すけこが9%安、類計では8%安。塩干品類は、開干あじが6%高、類計では前年並み。煮干製品類は、しらす干が28%高、煮干いわしが5%高、類計では18%高。練製品類は2%安。湯煮品類は煮たこが15%高、類計では11%高。

— 10 月 —

☆ 鮮 魚	取扱数量	19,955 t (対前年比 103.0%)
	平均価格	759 円 (" 37 円安)

取扱数量は、まぐろ類は、先月に続きまぐろの国内物の入荷が落ち込み47%減、まぐろの輸入物が29%増、めばちの国内物が15%減、めばちの輸入物が7%減、めじが大きく減って85%減、類計で34%減。まあじは千葉・長崎もの主体で11%減、さばは宮城・千葉もの主体に9%減、まいわしは静岡・千葉もの主体で33%増、するめいかは青森・北海道もの主体に17%増、かつおは宮城・千葉もの主体で33%減、さんまは北海道・宮城もの主体で39%増。

平均価格は、まぐろ類はまぐろの国内物が20%高、まぐろ

の輸入物が前年並み、めばちの国内物が前年並み、めばちの輸入物が3%安、めじが80%高、類計では5%安。まあじは12%高、さばは前年並み、まいわしは34%安、するめいかは13%安、かつおは62%高、さんまは31%安。

☆ 活 魚	取扱数量	1,306 t (対前年比 92.7%)
	平均価格	1,440 円 (" 114 円安)

取扱数量は、あなごが前年並み、かんぱちが46%増、またいが3%減。

平均価格は、あなごが5%高、かんぱちが24%安、またいが前年並み。

☆ 貝 類	取扱数量	4,775 t (対前年比 104.9%)
	平均価格	908 円 (" 21 円安)

<生鮮貝類>

取扱数量は、あさりが前年並み、かきが6%増、しじみが5%増、はまぐりが8%増、あか貝が3%増、ほたて貝が11%増、むきかきが8%増、むきほたて貝が18%増、類計では5%増。

平均価格は、あさりが2%高、かき・しじみが前年並み、はまぐりが3%安、あか貝・ほたて貝・むきかきが前年並み、むきほたて貝が9%安、類計では前年並み。

<冷凍貝類>

取扱数量は類計で5%増、平均価格は類計で11%安。

☆ 冷凍魚	取扱数量	16,430 t (対前年比 113.1%)
	平均価格	897 円 (" 172 円安)

取扱数量は、まぐろ類は、ほんまぐろが21%増、きわだが20%増、主力のめばちが20%増、印度まぐろが5%減、類計では15%増。いか類は、するめいかの国内物が10%減、類計では22%増。かれい類は、あさばかれいが8%減、からすかれいが15%増、類計では8%増。さけ・ます類は、べにさけが19%減、ぎんさけが133%増、ますのすけが43%増、類計では60%増。えび類は、あかえびが19%減、主力のインドネシアが11%増、インドが39%減、類計では前年並み。かに類が類計で13%増、ぎんたらが33%減、さばが76%増、たこが13%減。

平均価格は、まぐろ類は、ほんまぐろが21%安、きわだが4%安、めばちが17%安、印度まぐろが6%安、類計では17%安。いか類は、するめいかの国内物が11%高、類計では7%安。かれい類は、あさばかれいが28%高、からすかれいが3%安、類計では7%高。さけ・ます類は、べにさけが5%高、ぎんさけが39%安、ますのすけが32%安、類計では30%安。えび類は、あかえびが8%安、インドネシアが19%安、インドが32%減、類計では19%安。かに類が類計で前年並み、ぎんたらは前年並み、さばが7%高、たこが21%高。

☆ 加工品	取扱数量	21,811 t (対前年比 99.6%)
	平均価格	706 円 (" 42 円安)

取扱数量は、塩蔵品類は、塩あきさけが11%減、塩しろさけが7%減、塩べにさけが24%減、塩ぎんさけが27%増、すじこが31%増、いくらが29%減、すけこが前年並み、類計で2%減。塩干品類は、開干あじが10%減、開干さんまが8%増、類計で前年並み。煮干製品類は、煮干いわしが56%増、しらす干が35%減、類計では11%減。素干品類は、干するめの国内物が31%増、類計では4%増。練製品類は類計で2%減。湯煮品類は煮たこが14%減、類計では9%減。

平均価格は、塩蔵品類は、塩あきさけが13%安、塩しろさけ・塩べにさけが7%高、塩ぎんさけが19%安、すじこが2

%安、いくらが30%安、すけこが6%高、類計では16%安。
塩干品類は、開干あじが8%高、開干さんまが11%安、類計では前年並み。煮干品類は、煮干いわしが前年並み、しらす干が48%高、類計では21%高。素干品類は、干するめの国内物が29%安、類計では19%安。練製品類は類計で前年並み。湯煮品類は、煮たこが15%高、類計で14%高。

— 11月 —

☆ 鮮 魚	取扱数量	17,960 t (対前年比	98.9%)
	平均価格	831 円 ("	36 円安)

取扱数量は、まぐろ類は、まぐろの国内物が71%増、まぐろの輸入物が19%減、めじが78%減、めばちの国内物が17%増、めばちの輸入物が8%減、類計では32%減。まあじは千葉・長崎もの主体で4%減、さばは和歌山・千葉もの主体で5%減、まいわしは宮城・静岡もの主体で2.5倍増、するめいかは青森・北海道もの主体で12%減、かつおは宮城・福島もの主体に44%減、さんまは宮城・千葉もの主体に漁況好調で60%増。

平均価格は、まぐろ類は、まぐろの国内物は4%安、まぐろの輸入物が2%安、めじが69%高、めばちの国内物が18%安、めばちの輸入物が11%安、類計では26%高。まあじは10%安、さばは4%安、まいわしは52%安、するめいかは5%高、かつおが57%高、さんまが33%安。

☆ 活 魚	取扱数量	1,322 t (対前年比	105.7%)
	平均価格	1,366 円 ("	112 円安)

取扱数量は、あなごが前年並み、かんぱちが40%増、またいが前年並み。

平均価格は、あなごが前年並み、かんぱちが20%安、またいが前年並み。

☆ 貝 類	取扱数量	5,073 t (対前年比	102.8%)
	平均価格	896 円 ("	39 円安)

<生鮮貝類>

取扱数量は、あさりが5%減、かきが4%増、しじみが前年並み、はまぐりが7%増、あか貝が4%増、ほたて貝が19%増、むきかきが6%減、むきほたて貝が15%増、類計では3%増。

平均価格は、あさりが4%高、かきが4%安、しじみが前年並み、はまぐりが10%安、あか貝が7%安、ほたて貝が6%安、むきかきが5%高、むきほたて貝が11%安、類計では4%安。

<冷凍貝類>

取扱数量は類計で前年並み。平均価格は類計で7%安。

☆ 冷凍魚	取扱数量	15,950 t (対前年比	103.9%)
	平均価格	932 円 ("	121 円安)

取扱数量は、まぐろ類は、ほんまぐろが35%増、きわだが7%増、主力のめばちが8%増、印度まぐろが21%増で、類計では5%増。いか類は、するめいかの国内物が43%減、むきいかが20%減、類計で7%減。かれい類は、からすかれいが16%増、類計で15%減。さけ・ます類は、べにさけが48%減、ぎんさけが63%増、ますのすけが7%増、ますが179%増、類計では37%増。えび類は、あかえびが23%減、フィリピンが19%増、インドネシアが5%増、インドが15%減、類計では前年並み。かに類は類計で14%増、ぎんたらが12%増、さばが6%増、たこが27%減。

平均価格は、まぐろ類は、ほんまぐろが25%安、きわだが3%安、めばちが16%安、印度まぐろが5%安、類計では16%

安。いか類は、するめいかの国内物が40%高、むきいかが3%安、類計では5%高。かれい類は、からすかれいが14%高、類計では22%高。さけ・ます類は、べにさけが8%高、ぎんさけが37%安、ますのすけが39%安、類計では32%安。えび類は、あかえびが4%安、フィリピンが21%安、インドネシアが17%安、インドが33%安、類計では14%安。かに類は類計で前年並み、ぎんたらは前年並み、さばは14%高、たこが19%高。

☆ 加工品	取扱数量	22,159 t (対前年比	96.8%)
	平均価格	734 円 ("	24 円安)

取扱数量は、塩蔵品類は、塩あきさけが7%増、塩しろさけが25%減、塩べにさけが22%減、塩ぎんさけが38%増、いくらが28%増、すけこが6%減、類計では前年並み。塩干品類は、開干あじが12%減、開干ほっけが13%増、類計では5%減。煮干製品類は、煮干いわしが12%増、しらす干が30%減、類計では18%減。焼物製品類は、蒲焼うなぎが39%増、類計では30%増。素干品類は、干するめの国内物が6%減、類計では8%減。練製品類は類計で2%減。湯煮品類は煮たこが13%減、類計で5%減。

平均価格は、塩蔵品類は、塩あきさけが22%安、塩しろさけが9%高、塩べにさけが6%安、塩ぎんさけが18%安、いくらが31%安、すけこが3%高、類計では9%安。塩干品類は、開干あじが6%高、開干ほっけが9%高、類計では前年並み。煮干製品類は、煮干いわしが11%安、しらす干が45%高、類計では27%高。焼物製品類は、蒲焼うなぎが19%安、類計では15%安。素干品類は、干しするめの国内物が11%安、類計が3%安。練製品類は類計で前年並み。湯煮品類は煮たこが18%高、類計で5%安。

— 12月 —

☆ 鮮 魚	取扱数量	17,067 t (対前年比	96.8%)
	平均価格	1,124 円 ("	4 円安)

取扱数量は、まぐろ類は、まぐろの国内物が32%増、まぐろの輸入物が10%減、めじが47%減、めばちの国内物が26%減、めばちの輸入物が14%減、類計では25%減。まあじは千葉・長崎もの主体で7%減、さばは千葉もの主体で15%増、まいわしは産地の水揚げが大きく減り、神奈川もの主体で23%減、するめいかは青森・北海道もの主体で12%減、はまちは57%増。

平均価格は、まぐろ類は、まぐろの国内物が12%高、まぐろの輸入物が前年並み、めじが48%高、めばちの国内物が9%高、めばちの輸入物が18%高で、類計では23%高。まあじは5%安、さばが12%安、まいわしが33%高、するめいかが10%高、はまちが35%安。

☆ 活 魚	取扱数量	1,686 t (対前年比	103.5%)
	平均価格	1,371 円 ("	119 円安)

取扱数量は、あなごが2%減、かんぱちが34%増、またいが3%減、ひらめが12%増。

平均価格は、あなごが前年並み、かんぱちが19%減、またいが前年並み、ひらめが12%安。

☆ 貝 類	取扱数量	5,762 t (対前年比	99.7%)
	平均価格	947 円 ("	35 円安)

<生鮮貝類>

取扱数量は、あさりが7%減、かきが前年並み、しじみが10%減、はまぐりが4%増、あか貝が7%減、ほたて貝が21%増、むきかきが9%減、むきほたて貝が18%増で、類計では

前年並み。

平均価格は、あさがり5%高、かきが5%安、しじみが前年並み、はまぐりが8%安、あか貝が2%安、ほたて貝が12%安、むきかきが5%高、むきほたて貝が14%安で、類計では2%安。

<冷凍貝類>

取扱数量は類計で6%増、平均価格は類計で10%安。

☆ 冷凍魚	取扱数量	21,875 t (対前年比	111.5 %)
	平均価格	1,058 円 ("	119 円安)

取扱数量は、まぐろ類は、ほんまぐろが16%増、きわだぐろが4%増、主力のめばちが8%増、印度まぐろが3%増、類計では8%増。いか類は、するめいかの国内物が60%増、類計では5%増。さけ・ます類は、べにさけが8%減、主力のぎんさけが67%増、ますのすけが72%増、ますが30%減で、類計では33%増。えび類は、あかえびが18%減、フィリピンが23%減、インドネシアが22%増、インドが32%減、類計では6%増。かに類は、煮たらばかにが12%増、煮ずわいかにが26%増で、類計では15%増。ぎんたらが74%増、さばが59%増、たこが16%減。

平均価格は、まぐろ類は、ほんまぐろが18%安、きわだぐろが前年並み、めばちが12%安、印度まぐろが14%安、類計では14%安。いか類は、するめいかの国内物が前年並み、類計では12%安。さけ・ます類は、べにさけが14%高、ぎんさけが34%安、ますのすけが29%安、ますが42%高、類計では21%安。えび類は、あかえびが5%高、フィリピンが15%安、インドネシアが14%安、インドが24%安、類計では10%安。かに類は、煮たらばかにが4%高、煮ずわいかにが9%安、類計では前年並み。ぎんたらが前年並み、さばが9%高、たこが24%高。

☆ 加工品	取扱数量	26,980 t (対前年比	99.4 %)
	平均価格	930 円 ("	17 円高)

取扱数量は、塩蔵品類は、塩あきさけが9%減、塩しろさけが14%減、塩べにさけが13%減、塩ぎんさけが26%増、いくらが88%増、すけこが3%増、塩かずのこが前年並みで、類計では5%増。塩干品類は、開干あじが14%減、開干ほっけが14%増、類計では5%増。煮干製品類は、煮干いわしが13%増、しらす干が27%減、類計では12%減。素干品類は、干するめの国内物が5%減、類計では8%増。練製品類は、かまぼこが3%減、類計では前年並み。湯煮品類は、煮たこが20%減、類計では11%減。

平均価格は、塩蔵品類は、塩あきさけが19%安、塩しろさけが7%高、塩べにさけが10%安、塩ぎんさけが17%安、いくらが30%安、すけこ・塩かずのこが前年並み、類計でも前年並み。塩干品類は、開干あじが4%高、開干ほっけが9%高、類計では前年並み。煮干製品類は、煮干いわしが13%高、しらす干が39%高、類計では18%高。素干品類は、干するめの国内物が9%安、練製品類は、かまぼこが前年並み、類計では前年並み。湯煮品類は、煮たこが25%高、類計では19%高。

2 主要品目の取扱高

(1) まぐろ類

生鮮物は、取扱数量が対前年比22%の減少で190,691 t、平均価格では230円高の1,735円となった。品目別に比較すると、取扱数量では、まぐろの国内物は三陸沖の巻き網漁が過去2年間に比べてふるわなかったこともあり、45%減と大きく減った。めじが同様に48%減、きわだの国内物が10%減、めばちの国内物が12%減、まぐろの輸入物が4%増、めばちの輸入物が11%減。平均価格は、まぐろの国内物が1,172円高で3,598円、めじが149円高で827円、きわだの国内物が30円高の730円、めばちの国内物が81円安で1,978円、まぐろの輸入物が124円高の3,703円、めばちの輸入ものが38円高の1,521円となった。

冷凍物は、取扱数量が対前年比6%増加の59,150 t、平均価格は対前年比135円安の1,367円となった。品目別に比較すると、めばちが4%増で39,457 t、ほんまぐろが21%増で6,176 t、きわだぐろが64%増で3,163 t、印度まぐろが4%増で9,976 tとなった。平均価格は、めばちが116円安の916円、ほんまぐろが473円安の2,793円、きわだぐろが88円安の674円、印度まぐろが24円安の2,484円となった。

(2) かつお

取扱数量は、対前年比3%の減少で11,672 t、平均価格では対前年比150円高の583円となった。数量は毎月前年を下回り、3～4月には特に大きく前年を割り込んだ。平均価格は毎月前年を下回った。

(3) はまち

取扱数量は、対前年比31%の増加で10,202 t、平均価格では対前年比250円安の800円となった。数量は毎月前年を上回り、8月以降は大きく前年を上回った。平均単価は毎月前年を下回った。

(4) まあじ

取扱数量は対前年比10%の減少で18,190 t、平均価格では対前年比43円高の521円となった。数量は3月以外は前年を下回り、平均価格はおおむね高値基調で推移した。

(5) まいわし

取扱数量は対前年比17%の減少で8,226 t、平均価格では対前年比39円高の451円となった。数量は、昨年極端に入荷の少なかった9～11月のみ前年を上回った。平均価格は、上半期には毎月前年を上回った。

(6) するめいか

生鮮物は、取扱数量が対前年比7%の増加で16,429 t、平均価格では対前年比53円安の347円となった。数量・平均価格ともおおむね前年並みの水準で推移した。

冷凍物は、取扱数量が対前年比21%の増加で5,965 t、平均価格は対前年比27円高で259円となった。数量は2～3月と12月に前年を大きく上回ったが、平均価格は一年を通して前年並みの水準で推移した。

(7) さば

生鮮物は、取扱数量が対前年比6%減の9,367 t、平均価格が対前年比39円安の483円となった。平均価格はおおむね前年を下回ったが、数量・金額ともおおむね前年並みの水準で推移した。

冷凍物は、取扱数量が対前年比40%増の7,938 t、平均価格が対前年比3円安の251円。数量は1～4月と12月に大きく前年を上回ったが、平均価格はおおむね前年並みの水準で推移した。

(8) さんま

取扱数量が対前年比39%増の15,356 t、平均価格が対前年比137円安の458円となった。8月から本格的に出回る新物の取扱は前年を大きく上回り、価格は1年を通して安値基調で推移した。

(9) さけ・ます類

生鮮物は、取扱数量が対前年比8%増の9,177 t、平均価格が対前年比138円安の605円となった。品目別に見ると、取扱数量はしろさけが11%増、ますが35%減、輸入さけ・ますが11%増となった。平均価格は、しろさけが93円安、ますが241円高、輸入さけ・ますが148円安となった。

冷凍物は、取扱数量が前年比 42 % の増加で 31,633 t、平均価格は対前年比 123 円安の 449 円となった。品目別に見ると、取扱数量はべにさけが 18 % 減、ぎんさけが 50 % 増、ますのすけが 38 % 増。平均価格は、べにさけが 42 円高、ぎんさけが 156 円安、ますのすけが 210 円安となった。

(10) えび類

生鮮物は、取扱数量が対前年比 1 % の減少で 2,723 t、平均価格は 75 円高で 2,658 円となった。品目別に見ると、取扱数量はまきえびが 2 % 減、あかえびが前年並み、むきえびが 2 % 減となった。平均価格は、まきえびが 263 円高、あかえびが 70 円安、むきえびが 40 円高。

冷凍物は、取扱数量が対前年比 8 % の減少で 18,812 t、平均価格は 76 円安の 1,558 円となった。品目別に見ると、取扱数量はあかえびが 12 % 減、インドネシアが 7 % 減、フィリピンが 1 % 増、インドが 38 % 減。平均価格は、あかえびが 65 円安の 1,071 円、インドネシアが 86 円安の 1,568 円、フィリピンが 31 円安の 1,596 円、インドが 172 円安の 1,532 円となった。

(11) 加工品

取扱数量は 2 % 減の 253,161 t、平均価格は 8 円安の 721 円となった。

塩蔵品類では、あきさけ・しろさけ・べにさけがそれぞれ 16 %・3 %・25 % 減少し、ぎんさけが 29 % 増加した。魚卵類はいくらが 8 % 減少した。類計では 4 % 減の 33,240 t、平均価格は 57 円安の 1,416 円となった。

塩干品類では、開干あじが 13 % 減で、類計では 5 % 減の 37,974 t、平均価格は 9 円高の 554 円となった。

煮干製品類では、しらす干が 10 % 減、煮干しいわしが 21 % 増で、類計では前年並みの 14,298 t、平均価格は 134 円高の 1,093 円。

焼物製品類では、蒲焼うなぎが 13 % 増、類計では 9 % 増の 8,200 t、平均価格は 161 円安の 1,221 円となった。

素干品類では、干するめの国内物が 7 % 増、類計では 1 % 減の 7,021 t、平均価格は 72 円安の 983 円となった。

練製品類は、取扱数量が 3 % 減の 40,701 t、平均価格が 4 円安の 499 円となった。

湯煮品類では、煮たこが 19 % 減で、類計では 12 % 減の 9,055 t、平均価格は 88 円高の 958 円。

3 市場別取扱高

(1) 築地市場

総取扱数量は、632,257 t で対前年比 99.4 % (4,096 t 減) と減少、総取扱金額は、544,567 百万円で対前年比 96.2 % (21,669 百万円減) と減少した。

分類別に比較すると、取扱数量は、鮮魚が 3 % (5,079 t) 減少して 162,229 t、活魚が 1 % (103 t) 増加して 14,103 t、貝類が 3 % (1,375 t) 減少して 44,189 t、冷凍魚が 4 % (7,187 t) 増加して 175,832 t、淡水魚が 12 % (326 t) 減少して 2,360 t、海藻類が 15 % (976 t) 増加して 7,610 t、加工品が 2 % (5,581 t) 減少して 225,933 t。取扱金額は、鮮魚が 4 % (6,178 百万円) 減少して 150,536 百万円、活魚が 1 % (150 百万円) 増加して 20,918 百万円、貝類が 2 % (908 百万円) 減少して 40,463 百万円、冷凍魚が 6 % (10,062 百万円) 減少して 165,771 百万円、淡水魚が 5 % (148 百万円) 減少して 2,693 百万円、海藻類が 8 % (235 百万円) 減少して 3,045 百万円、加工品が 3 % (4,758 百万円) 減少して 161,141 百万円。

(2) 足立市場

総取扱数量は、50,247 t で対前年比 98.3 % (876 t 減) と減少、総取扱金額は、39,256 百万円で対前年比 94.6 % (2,228 百万円) と減少した。

分類別に比較すると、取扱数量は、鮮魚が 8 % (1,157 t) 減少して 13,801 t、活魚が 1 % (6 t) 減少して 487 t、貝類

が 1 % (24 t) 減少して 4,433 t、冷凍魚が 4 % (477 t) 増加して 11,315 t、淡水魚が 16 % (46 t) 減少して 228 t、海藻類が 9 % (47 t) 増加して 603 t、加工品が 1 % (170 t) 減少して 19,381 t。取扱金額は、鮮魚が 9 % (1,058 百万円) 減少して 11,269 百万円、活魚が 9 % (69 百万円) 減少して 680 百万円、貝類が 1 % (32 百万円) 増加して 3,557 百万円、冷凍魚が 1 % (51 百万円) 増加して 10,226 百万円、淡水魚が 5 % (14 百万円) 減少して 240 百万円、海藻類が 4 % (10 百万円) 増加して 239 百万円、加工品が 8 % (1,181 百万円) 減少して 14,102 百万円。

(3) 大田市場

総取扱数量は、35,076 t で対前年比 99.7 % (120 t 減) と減少し、総取扱金額は、30,496 百万円で対前年比 95.1 % (1,566 百万円減) と減少した。

分類別に比較すると、取扱数量は、鮮魚が 6 % (923 t) 減少して 14,661 t、活魚が 8 % (99 t) 減少して 1,099 t、貝類が 2 % (54 t) 増加して 2,422 t、冷凍魚が 15 % (1,123 t) 増加して 8,480 t、淡水魚が 25 % (49 t) 減少して 146 t、海藻類が 9 % (33 t) 増加して 420 t、加工品は 3 % (257 t) 減少して 7,848 t。取扱金額は、鮮魚が 7 % (870 百万円) 減少して 11,541 百万円、活魚が 6 % (107 百万円) 減少して 1,582 百万円、貝類が 2 % (45 百万円) 増加して 2,024 百万円、冷凍魚が 2 % (164 百万円) 減少して 7,533 百万円、淡水魚が 19 % (36 百万円) 減少して 157 百万円、海藻類は 10 % (27 百万円) 増加して 296 百万円、加工品類は 6 % (462 百万円) 減少して 7,363 百万円。

4 卸別取扱高

(1) 築地市場

① 大都魚類

総取扱数量は 135,907 t で対前年比 100.5 % (672 t 増) と前年並みで、総取扱金額は 113,561 百万円で対前年比 95.8 % (5,004 百万円減) と減少した。分類別に比較すると、取扱数量は鮮魚が 2 % (611 t) 減少して 34,711 t、活魚が 2 % (81 t) 減少して 3,600 t、貝類が 5 % (738 t) 減少して 12,980 t、冷凍魚が 3 % (1,911 t) 増加して 57,446 t、淡水魚が 17 % (107 t) 減少して 521 t、海藻類が 7 % (43 t) 増加して 651 t、加工品が 1 % (255 t) 増加して 26,028 t。取扱金額は、鮮魚が 3 % (1,100 百万円) 減少して 32,468 百万円、活魚が 1 % (26 百万円) 増加して 5,229 百万円、貝類が 3 % (362 百万円) 減少して 11,164 百万円、冷凍魚が 6 % (2,733 百万円) 減少して 44,724 百万円、淡水魚が 7 % (50 百万円) 減少して 632 百万円、海藻類が 3 % (9 百万円) 増加して 310 百万円、加工品が 4 % (793 百万円) 減少して 19,033 百万円。

② 中央魚類

総取扱数量は 127,715 t で対前年比 98.2 % (2,374 t 減) と前年並みで、総取扱金額は 128,496 百万円で対前年比 93.6 % (8,729 百万円減) と減少した。分類別に比較すると、取扱数量は鮮魚が 7 % (3,393 t) 減少し 41,848 t、活魚が 2 % (89 t) 減少し 3,575 t、貝類が 6 % (537 t) 減少し 8,827 t、冷凍魚が 3 % (1,520 t) 増加し 46,004 t、淡水魚が 19 % (115 t) 減少し 498 t、海藻類が 5 % (54 t) 増加し 1,264 t、加工品が 1 % (187 t) 増加し 25,700 t。取扱金額は、鮮魚が 6 % (2,354 百万円) 減少し 38,536 百万円、活魚が 2 % (76 百万円) 減少して 5,481 百万円、貝類が 1 % (75 百万円) 減少して 9,066 百万円、冷凍魚が 10 % (5,703 百万円) 減少して 50,650 百万円、淡水魚が 14 % (83 百万円) 減少して 514 百万円、海藻類が 2 % (15 百万円) 減少して 564 百万円、加工品が 2 %

(423 百万円) 減少して 23,686 百万円。

③東都水産

総取扱数量は 118,281 t で対前年比 96.7 % (4,080 t 減) と減少し、総取扱金額は 115,059 百万円で対前年比 95.7 % (5,226 百万円) と減少した。分類別に比較すると、取扱数量は鮮魚が 2 % (751 t) 減少して 36,341 t、活魚が 6 % (150 t) 減少し 2,535 t、貝類が 1 % (93 t) 減少し 7,683 t、冷凍魚が 2 % (677 t) 減少し 38,995 t、淡水魚が 11 % (55 t) 減少し 427 t、海藻類は 14 % (78 t) 増加し、加工品が 7 % (2,432 t) 減少し 31,647 t。取扱金額は鮮魚が 2 % (866 百万円) 減少し 37,608 百万円、活魚が 6 % (249 百万円) 減少して 3,809 百万円、貝類が 1 % (79 百万円) 減少して 7,275 百万円、冷凍魚が 6 % (2,392 百万円) 減少して 37,893 百万円、淡水魚が 1 % (4 百万円) 減少して 493 百万円、海藻類が 9 % (30 百万円) 増加して 347 百万円、加工品が 6 % (1,666 百万円) 減少して 27,635 百万円。

④築地魚市場

総取扱数量は 114,835 t で対前年比 97.9 % (2,403 t 減) と減少し、総取扱金額は 88,672 百万円で対前年比 95.7 % (3,980 百万円減) と減少した。分類別に比較すると、取扱数量は鮮魚が 0 % (23 t) 減少し 114,835 t、活魚が 8 % (274 t) 増加し 3,911 t、貝類が 5 % (363 t) 減少し 7,088 t、冷凍魚が 4 % (767 t) 増加し 21,065 t、淡水魚が 6 % (38 t) 減少し 607 t、海藻類が 11 % (139 t) 増加し 1,413 t、加工品が 6 % (3,160 t) 減少し 48,81 t。取扱金額は鮮魚が 5 % (1,405 百万円) 減少し 28,011 百万円、活魚が 8 % (415 百万円) 増加し 5,855 百万円、貝類が 5 % (350 百万円) 減少して 6,033 百万円、冷凍魚が 4 % (961 百万円) 減少し 20,765 百万円、淡水魚が 2 % (14 百万円) 減少し 701 百万円、海藻類が 8 % (42 百万円) 増加し 545 百万円、加工品が 6 % (1,707 百万円) 減少し 26,762 百万円。

⑤第一水産

総取扱数量は 53,465 t で対前年比 103.5 % (1,792 t 増) と増加し、総取扱金額は 43,626 百万円で対前年比 99.0 % (424 百万円減) と前年並み。分類別に比較すると、取扱数量は鮮魚が 2 % (301 t) 減少し 16,658 t、活魚が 41 % (150 t) 増加し 513 t、貝類が 4 % (315 t) 増加し 7,571 t、冷凍魚が 9 % (773 t) 増加し 9,113 t、淡水魚が 3 % (10 t) 減少し 308 t、海藻類が 1 % (7 t) 減少し 884 t、加工品は 5 % (872 t) 増加して 18,418 t。取扱金額は鮮魚が 3 % (452 百万円) 減少し 13,192 百万円、活魚が 6 % (33 百万円) 増加し 544 百万円、貝類が 1 % (75 百万円) 減少し 6,892 百万円、冷凍魚は 3 % (253 百万円) 増加し 10,101 百万円、淡水魚が 1 % (2 百万円) 増加し 354 百万円、海藻類が 5 % (12 百万円) 減少し 210 百万円、加工品が 2 % (173 百万円) 減少して 11,613 百万円。

⑥九千代田水産

総取扱数量は 70,921 t で対前年比 104.0 % (2,756 t 増) と増加し、総取扱金額は 44,178 百万円で対前年比 102.4 % (1,034 百万円増) と増加した。前年 11 月から計上されている冷凍魚の取扱が大きく伸びたため総取扱数量・金額とも増加した。分類別に比較すると、取扱数量は貝類が全増で 40 t、冷凍魚が 10.1 倍増 (2,893 t 増) で 3,209 t、海藻類が 29 % (587 t) 増加し 2,591 t、加工品が 1 % (764 t) 減少し 65,079 百万円。取扱金額は貝類が全増で 33 百万円、冷凍魚が 10.0 倍増で (1,474 百万円増) 1,639 百万円、海藻類が 19 % (156 百万円) 増加し 973 百万円、加工品が 2 % (630 百万円) 減少し 41,533 百万円。

⑦総合食品

総取扱数量は 11,133 t で対前年比 96.1 % (458 t 減) と減少し、総取扱金額は 10,974 百万円で対前年比 106.4 % (659 百万円増) と増加した。分類別に比較すると、取扱数量は海藻類が 2.1 倍増 (81 t 増) し 154 t、加工品は 5 % (539 t) 減少し 10,979 t。取扱金額は海藻類が 37 % (26 百万円) 増加し 96 百万円、加工品が 6 % (633 百万円) 増加し 10,878 百万円。

(2) 足立市場

①東京北魚

総取扱数量は 19,892 t で対前年比 97.6 % (482 t 減) と減少し、総取扱金額は 15,230 百万円で対前年比 96.1 % (615 百万円減) と減少した。分類別に比較すると、取扱数量は鮮魚が 7 % (316 t) 減少し 4,131 t、活魚が 25 % (27 t) 増加し 138 t、貝類が 9 % (131 t) 減少し 1,369 t、冷凍魚が 1 % (66 t) 減少して 4,570 t、淡水魚が 8 % (6 t) 減少し 70 t、海藻類が 5 % (10 t) 増加し 202 t、加工品が 0 % (1 t) 減少し 9,411 t。取扱金額は鮮魚が 4 % (120 百万円) 減少し 3,050 百万円、活魚が 5 % (8 百万円) 増加し 177 百万円、貝類が 8 % (108 百万円) 減少し 1,163 百万円、冷凍魚が 3 % (107 百万円) 増加し 4,420 百万円、淡水魚が前年並みで 62 百万円、海藻類が 2 % (1 百万円) 減少して 92 百万円、加工品が 7 % (501 百万円) 減少して 6,265 百万円。

②大都魚類 (千住支社)

総取扱数量は 16,629 t で対前年比 99.2 % (138 t 減) と前年並みで、総取扱金額は 12,927 百万円で対前年比 93.8 % (858 百万円減) と減少した。分類別に比較すると、取扱数量は鮮魚が 6 % (307 t) 減少して 5,312 t、活魚が 29 % (51 t) 減少して 135 t、貝類が 15 % (225 t) 増加して 1,755 t、冷凍魚が 2 % (59 t) 3,597 t、淡水魚が 25 % (27 t) 減少して 83 t、海藻類が 8 % (15 t) 減少して 164 t、加工品が 0 % (16 t) 減少して 5,583 t。取扱金額は鮮魚が 11 % (466 百万円) 減少して 3,798 百万円、活魚が 31 % (87 百万円) 減少して 196 百万円、貝類が 19 % (229 百万円) 増加し 1,438 百万円、冷凍魚が 7 % (214 百万円) 減少して 3,071 百万円、淡水魚が 13 % (14 百万円) 減少して 92 百万円、海藻類が 4 % (3 百万円) 減少して 68 百万円、加工品が 7 % (304 百万円) 減少して 4,265 百万円。

③中央魚類 (千住支社)

総取扱数量は 13,726 t で対前年比 98.1 % (260 t 減) と前年並みで、総取扱金額は 11,099 百万円で対前年比 93.6 % (754 百万円減) と減少した。分類別に比較すると、取扱数量は鮮魚が 11 % (534 t) 減少し 4,357 t、活魚が 9 % (18 t) 増加し 214 t、貝類が 8 % (118 t) 減少し 1,310 t、冷凍魚が 18 % (484 t) 増加し 3,148 t、淡水魚が 12 % (10 t) 減少し 76 t、海藻類が 29 % (53 t) 増加し 237 t、加工品が 3 % (153 t) 減少し 4,385 t。取扱金額は鮮魚が 12 % (471 百万円) 減少し 3,364 百万円、活魚が 4 % (10 百万円) 増加し 307 百万円、貝類が 9 % (89 百万円) 減少し 956 百万円、冷凍魚が 6 % (159 百万円) 増加して 2,735 百万円、淡水魚が前年並みで 85 百万円、海藻類が 22 % (14 百万円) 増加し 79 百万円、加工品が 10 % (377 百万円) 減少して 3,572 百万円。

(3) 大田市場

①大田魚市場

総取扱数量は 20,897 t で対前年比 101.9 % (388 t 増) と前年並み、総取扱金額は 18,259 百万円で対前年比 96.7 % (629 百万円) と減少した。分類別に比較すると、取扱数量は鮮魚が 10 % (946 t) 減少して 9,046 t、活魚が 3 % (10 t) 増加して 325 t、貝類が 10 % (120 t) 増加して 1,313 t、冷凍魚が 21 %

(930 t) 増加して 5,446 t、淡水魚が 17 % (13 t) 減少して 67 t、海藻類が 8 % (13 t) 減少して 155 t、加工品が 7 % (299 t) 増加して 4,545 t。取扱金額は鮮魚が 9 % (729 百万円) 減少して 7,554 百万円、活魚が 4 % (17 百万円) 減少して 463 百万円、貝類が 4 % (42 百万円) 増加して 1,086 百万円、冷凍魚が 2 % (109 百万円) 減少して 4,615 百万円、淡水魚が 9 % (8 百万円)、海藻類が 3 % (4 百万円) 増加して 180 百万円、加工品が 5 % (186 百万円) 増加して 4,282 百万円。

②大都魚類 (大田支社)

総取扱数量は 14,179 t で対前年比 96.5 % (508 t 減) と減少し、総取扱金額は 12,237 百万円で対前年比 92.9 % (937 百万円減) と減少した。分類別に比較すると、取扱数量は鮮魚が 0 % (22 t) 増加し 5,614 t、活魚が 12 % (109 t) 減少し 774 t、貝類が 6 % (66 t) 減少し 1,109 t、冷凍魚が 7 % (192 t) 増加し 3,034 t、淡水魚が 31 % (36 t) 減少し 78 t、海藻類が 21 % (45 t) 増加し 265 t、加工品が 14 % (556 t) 減少し 3,303 t。取扱金額は鮮魚が 3 % (141 百万円) 減少し 3,987 百万円、活魚が 8 % (90 百万円) 減少し 1,119 百万円、貝類が 0 % (3 百万円) 増加し 937 百万円、冷凍魚が 2 % (55 百万円) 減少し 2,918 百万円、淡水魚が 27 % (28 百万円) 減少し 78 百万円、海藻類が 24 % (22 百万円) 増加し 117 百万円、加工品が 17 % (648 百万円) 減少し 3,082 百万円。

5 買付比率

全体の買付比率は、取扱数量が 55.3 % と前年を 2.5 ポイント上回り、取扱金額が 53.8 % と前年を 1.1 ポイント上回った。市場別では、築地市場が取扱数量で 55.4 % と前年を 2.3 ポイント上回り、取扱金額で 52.9 % と前年を 0.9 ポイント上回った。足立市場が取扱数量で 47.9 % と前年を 2.0 ポイント上回り、取扱金額で 54.8 % と前年を 1.0 ポイント上回った。大田市場が取扱数量で 62.8 % と前年を 5.3 % 上回り、取扱金額で 68.2 % と前年を 3.0 ポイント上回った。

卸売業者別には次の表のとおり

卸 売 業 者 別 買 付 比 率

	取 扱 数 量			取 扱 金 額		
	平成13年	平成12年	差	平成13年	平成12年	差
総 計	55.3	52.8	2.5	53.8	52.7	1.1
(築地市場)	55.4	53.1	2.3	52.9	52.0	0.9
大 都 魚 類	53.8	52.2	1.6	50.3	49.3	1.0
中 央 魚 類	52.2	49.3	2.9	50.3	50.3	0.0
東 都 水 産	51.6	49.6	2.0	50.6	49.1	1.5
築地魚市場	48.6	46.6	2.0	44.3	44.7	-0.4
第 一 水 産	45.3	42.0	3.3	46.5	45.6	0.9
丸千代田水産	89.4	88.3	1.1	91.4	90.2	1.2
綜 合 食 品	56.5	53.3	3.2	73.1	70.1	3.0
(足立市場)	47.9	45.9	2.0	54.8	53.8	1.0
東 京 北 魚	46.8	47.2	-0.4	59.2	59.6	-0.4
大都魚類・千住	47.0	44.6	2.4	50.2	50.2	0.0
中央魚類・千住	50.6	45.6	5.0	54.1	50.1	4.0
(大田市場)	62.8	57.5	5.3	68.2	65.2	3.0
東京大田魚市場	63.6	57.7	5.9	69.7	67.2	2.5
大都魚類・大田	61.5	57.2	4.3	65.9	62.3	3.6

6 出荷地別取扱高

(1) 総取扱高

都道府県別の取扱数量のベスト 10 は、1 位東京・2 位静岡・3 位千葉・4 位宮城・5 位北海道・6 位青森・7 位三重・8 位愛知・9 位神奈川・10 位茨城となり、前年と順位の変更はなかった。取扱金額のベスト 10 は、1 位東京・2 位静岡・3 位北海道・4 位千葉・5 位宮城・6 位青森・7 位三重・8 位神奈川・9 位愛知・10 位愛媛となり、7 三重・8 位神奈川の順位が入れ替わった

(2) 鮮魚取扱高

取扱数量では、1 位東京・2 位千葉・3 位宮城・4 位北海道・5 位青森・6 位愛媛・7 位福岡・8 位三重・9 位静岡・10 位長崎となった。順位の変動はなかった。

(3) 冷凍魚取扱高

取扱数量では、1 位東京・2 位静岡・3 位大阪・4 位青森・5 位宮城・6 位神奈川・7 位北海道・8 位千葉・9 位福岡・10 位愛知となった。大阪と神奈川がそれぞれ 2 つ順位を下げた。

(4) 加工品取扱高

取扱量では、1 位東京・2 位千葉・3 位静岡・4 位宮城・5 位北海道・6 位茨城・7 位愛知・8 位福島・9 位神奈川・10 位兵庫となった。順位の変動はなかった。

表 1 年次別取扱高

(単位:トン・千円・%)

	平成13年	平成12年	平成11年	平成10年	平成 9年	平成 8年	平成 7年
総数量	717,581	722,672	716,173	715,380	715,250	725,624	738,236
前年比	99.3	100.9	100.1	100.0	98.6	98.3	96.8
総金額	614,319,161	639,782,342	662,495,686	664,949,765	690,674,765	696,941,817	680,172,945
前年比	96.0	96.6	99.6	96.3	99.1	102.5	95.4

表2-1 年次別魚種別取扱数量

(単位:トン・%)

年次	平成13年		平成12年		平成11年		平成10年		平成9年		前 年 比					指 数
魚種	数 量	構成比	数 量	構成比	数 量	構成比	数 量	構成比	数 量	構成比	13年	12年	11年	10年	9年	7年=100
総 数	717,581	100.0	722,672	100.0	716,173	100.0	715,380	100.0	715,250	100.0	99.3	100.9	100.1	100.0	98.6	97
鮮 魚	190,691	26.6	197,850	27.4	195,106	27.2	188,626	26.4	192,221	26.9	96.4	101.4	103.4	98.1	105.0	99
活 魚	15,689	2.2	15,691	2.2	16,344	2.3	15,767	2.2	14,349	2.0	100.0	96.0	103.7	109.9	102.5	107
貝 類	51,045	7.1	52,390	7.2	52,989	7.4	54,674	7.6	56,077	7.8	97.4	98.9	96.9	97.5	97.3	91
冷凍魚	195,627	27.3	186,840	25.9	179,196	25.0	181,681	25.4	176,770	24.7	104.7	104.3	98.6	102.8	95.0	102
淡水魚	2,734	0.4	3,152	0.4	2,779	0.4	3,055	0.4	3,469	0.5	86.7	113.4	91.0	88.1	82.9	64
海藻類	8,633	1.2	7,577	1.0	7,664	1.1	8,060	1.1	7,768	1.1	113.9	98.9	95.1	103.8	100.1	114
加工品	253,161	35.3	259,170	35.9	262,096	36.6	263,518	36.8	264,595	37.0	97.7	98.9	99.5	99.6	97.0	93

表2-2 年次別魚種別取扱金額

(単位:百万円・%)

年次	平成13年		平成12年		平成11年		平成10年		平成9年		前 年 比					指 数
魚種	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	13年	12年	11年	10年	9年	7年=100
総 数	614,319	100.0	639,782	100.0	662,496	100.0	664,950	100.0	690,675	100.0	96.0	96.6	99.6	96.3	99.1	90
鮮 魚	172,289	28.0	180,394	28.2	185,351	28.0	183,923	27.7	189,533	27.4	95.5	97.3	100.8	97.0	101.0	93
活 魚	23,180	3.8	23,205	3.6	23,422	3.5	23,796	3.6	25,564	3.7	99.9	99.1	98.4	93.1	101.5	96
貝 類	46,044	7.5	46,874	7.3	48,501	7.3	49,063	7.4	51,482	7.5	98.2	96.6	98.9	95.3	99.3	88
冷凍魚	183,531	29.9	193,705	30.3	199,218	30.1	198,489	29.9	207,118	30.0	94.7	97.2	100.4	95.8	99.5	93
淡水魚	3,089	0.5	3,288	0.5	3,753	0.6	4,438	0.7	4,950	0.7	94.0	87.6	84.6	89.7	91.9	57
海藻類	3,581	0.6	3,308	0.5	3,537	0.5	3,560	0.5	3,157	0.5	108.2	93.5	99.4	112.8	102.8	120
加工品	182,606	29.7	189,007	29.5	198,714	30.0	201,681	30.3	208,871	30.2	96.6	95.1	98.5	96.6	96.9	86

表2-3 年次別魚種別平均価格

(単位:kg/円・%)

年次	平成13年		平成12年		平成11年		平成10年		平成9年		対平成7年(1995年)指数				
魚種	価 格	前年比	価 格	前年比	価 格	前年比	価 格	前年比	価 格	前年比	13年	12年	11年	10年	9年
総 数	856	96.7	885	95.7	925	99.5	930	96.3	966	100.5	93	96	100	101	105
鮮 魚	903	99.1	912	96.0	950	97.4	975	98.9	986	96.2	93	94	98	101	102
活 魚	1,477	99.9	1,479	103.2	1,433	95.0	1,509	84.7	1,782	99.0	90	90	87	92	108
貝 類	902	100.8	895	97.8	915	102.0	897	97.7	918	102.0	97	96	99	97	99
冷凍魚	938	90.5	1,037	93.3	1,112	101.8	1,093	93.2	1,172	104.7	91	101	108	106	114
淡水魚	1,130	108.4	1,043	77.2	1,350	93.0	1,453	101.8	1,427	110.9	89	82	107	115	113
海藻類	415	95.0	437	94.6	462	104.5	442	108.7	406	102.7	106	111	117	112	103
加工品	721	98.9	729	96.2	758	99.1	765	97.0	789	99.9	92	93	97	98	101

表3-1 市場別・年次別取扱数量

(単位:トン・%)

市 場	年次 区分	平成13年		平成12年		平成11年		平成10年		平成9年	
		数量	構成比	数量	構成比	数量	構成比	数量	構成比	数量	構成比
総 数	数 量	717,581	100.0	722,672	100.0	716,173	100.0	715,380	100.0	715,250	100.0
	前年比	99.3	-	100.9	-	100.1	-	100.0	-	98.6	-
築 地	数 量	632,257	88.1	636,353	88.1	628,651	87.8	522,533	87.0	620,958	86.8
	前年比	99.4	-	101.2	-	101.0	-	100.3	-	98.8	-
足 立	数 量	50,247	7.0	51,122	7.1	50,661	7.1	52,605	7.4	53,887	7.5
	前年比	98.3	-	100.9	-	96.3	-	97.6	-	94.1	-
大 田	数 量	35,076	4.9	35,196	4.9	36,861	5.1	40,242	5.6	40,405	5.6
	前年比	99.7	-	95.5	-	91.6	-	99.6	-	101.6	-

表3-2 市場別・年次別取扱金額

(単位:百万円・%)

市 場	年次 区分	平成13年		平成12年		平成11年		平成10年		平成9年	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
総 数	金 額	614,319	100.0	639,782	100.0	662,496	100.0	664,950	100.0	690,675	100.0
	前年比	96.0	-	96.6	-	99.6	-	96.3	-	99.1	-
築 地	金 額	544,567	88.6	566,236	88.5	584,996	88.3	582,656	87.6	605,913	87.7
	前年比	96.2	-	96.8	-	100.4	-	96.2	-	99.3	-
足 立	金 額	39,256	6.4	41,484	6.5	43,250	6.5	45,030	6.8	47,616	6.9
	前年比	94.6	-	95.9	-	96.0	-	94.6	-	95.7	-
大 田	金 額	30,496	5.0	32,062	5.0	34,249	5.2	37,263	5.6	37,146	5.4
	前年比	95.1	-	93.6	-	91.9	-	100.3	-	100.9	-